

ガラス・同製品製造業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者 規模
2017	1	4~5	検査2号ライン製品の工程検査実施後、レアーエンド作業場からレアー上作業台へ移動する際に、レアーエンドのステップ台から足を踏み外し、ステップと手すりの隙間に足が挟まり転倒した。その際、前方に設備されていた検査機の土台に左前頭部を打ち、挫傷した。	33	418	2	100 ~ 299
2017	1	9~10	カード機（不織布製造機）の原材料を機械本体へ搬送するダクト管（直径20cm、立ち上がり330cm、そこからL字エルボー管で90度曲がった状態）のL字エルボー部に材料が詰まった為、1人で197cm高さの脚立をセットし、その最上部に乗って作業をしていた時にバランスを崩し、不安定な状態になったのでダクトに抱きついて逃れようとしたが、足を滑らせ脚立が倒れ、背中から地面に落ちた。	57	371	1	10 ~ 29
2017	2	12~13	自動車ガラスの部品組付ラインにて自動機設備からガラスを出してシューターの上の完成品パレットに詰める作業の準備をしていた際に、シューターのストッパーが下がっていた為、シューターの上のガラスが20枚入った状態のパレットが動き、シューターから落ち、作業者の背中から腰のあたりに当たった。	37	224	4	300 ~ 499
2017	3	8~9	被災者が現場で作業準備をしていたところ、ガスストーブの隣にあったゴミ箱が、熱で燃えているの発見し、まだ火が小さかったため、ゴミ箱の中のゴミを袋ごと取り出し、近くの水道まで持っていく消火した。その際、溶けたビニールが軍手に張り付き、右手5本	50	529	16	100 ~ 299

			の指先から第1関節まで火傷した。				
2017	3	9~10	会議室の清掃を行っていたところ、ロフトの階段を4~5段上り、壁際のサンを拭こうとして手を伸ばしたところでめまいがし、誤って階段から転落して救急搬送された。	74	413	1	30 ~ 49
2017	3	17~18	請負先である構内作業所でパレット（木製）に荷卸し後、パレットに足がはさまり転倒し、右膝を強打して負傷した。当初は我慢していたが、そのあと腫れ上がり、膝裏側の靭帯部分の骨を損傷していることが分かった。	38	379	2	10 ~ 29
2017	3	9~10	当事業所工場内において、ガラスが束になっているパレット（重さ約200kg）をジャッキ台にのせて移動させる作業をそばで手伝っていたとき、荷物のバランスが崩れてパレットごと倒れ、下敷きとなった。	21	611	5	1~ 9
2017	3	8~9	本社工場内にて、電動巻き取り機（1馬力）を使用してガラス糸（1300TEX）を木製ボビン（10cm×4cm~1.5cm）への巻き取り作業中、ボビン右側を乗り越えた糸が金属製回転軸（25cm×10mm~18mm）に巻きつき、右手人差し指先が糸と回転軸との間に巻き込まれ、示指の指先を挫傷した。	22	169	7	1~ 9
2017	4	14~15	中間膜保管庫内でパレットを引いて移動しようとした際に、パレットの端に中間膜が片寄っていた為バランスが悪く、作業者に向かって中間膜が倒れ、右足首にあたり打撲した。	34	362	4	50 ~ 99
2017	4	16~17	工場内で、裁断された硝子を両手に持ち、所定の場所に置く為に移動していた際に躓いてしまい、右足首を捻挫した。	29	529	19	10 ~ 29
2017	5	16~17	製品グループ内通路を歩いていたところ、出荷品置場からリーチフォークが後進しながら通路に出て来て、急発進の上、後ろをよく確認しないで出てきたため、右肩に接触し同時に右足首が車体と床の間に挟まれ捻挫した。また、体勢を崩した際、左手をパレットに	26	222	7	50 ~ 99

			ぶつけ小指が突き指となった。					
2017	5	16～ 17	事故は事務棟1階設備グループ作業場にて、検査場で使用中のアルミ製パイプ裏面の傷及びバリの程度が進んだことから、裏面を研磨することで再度使用可能な状態に戻す為の作業中に起こった。被災者は旋盤を使用し、その回転軸部にパイプを装着固定し、スイッチを入れ回転させ、一方で棒ヤスリにサンドペーパーを重ねてその両端を両手でそれぞれ持って、回転するパイプの処置部にサンドペーパー面を押し付けながら研磨していた。その最中に両腕の力バランスが崩れ、右手の軍手が回転中のパイプに引っ掛かり、そのまま右手がパイプや基部のチャックに巻き込まれ、フットブレーキを踏み機械を止めたが間に合わず、右手を負傷した。	54	151	7	100 ～ 299	
2017	5	10～ 11	4号炉成形地下で、カレットコンベヤーテーブルプーリーの点検が終了し、ダクトの上を移動しようとした時に、聴診器を首にかけ、両手には何も持っていない状態で、体の向きを変えようとしている時に左手を無意識にベルト上（リターン側）に置いてしまい、左手がテールプーリーに巻き込まれた。	45	121	7	1～ 9	
2017	5	10～ 11	搬出作業においてケーキを台車に積み込む際に、台車のハンガーが変形しており、下のハンガーがケーキに当たって入らない為、ハンガーを持ち上げるようにして変形を修正しようとしたところ背中に激痛が走った。	29	921	19	100 ～ 299	
2017	6	17～ 18	工場排水処理設備汚泥貯留槽東側付近の植栽の枝切り作業中に、強風を受け体勢を崩し、梯子からコンクリート地下水槽角に胸部等を打ちつけ負傷した。（2m位の高さ）	50	371	1	50 ～ 99	
2017	6	11～ 12	B倉庫貨物用エレベーター内の荷物を取り出す為、倉庫内に停めてあったフォークリフトに乗り、エレベーター外側大扉に向かい、大きく旋回した時に、非常に大きな破裂音と共に左耳が急に聞こえにくくなった。近くにいたリーダーも耳に異常を感じており、すぐに本人から左耳が聞こえにくい事の報告を受けた。また、2階で作業	45	222	15	50 ～ 99	

			をしていた責任者もすぐに駆け付けて状況を確認したところ、後輪タイヤが破裂していた。				
2017	6	13～ 14	棚卸作業中、パレットの上の商品を確認する際に足を滑らせ転倒し、右膝を負傷して救急搬送された。	21	379	2	50 ～ 99
2017	7	7～8	駐輪場で自転車を止めようと左足を地面に降ろし右足も自転車から降ろそうとした時に右足が自転車に引っ掛かり身体のバランスを崩して左側へ倒れた。その際に左膝周辺を強打した。	41	362	2	100 ～ 299
2017	7	13～ 14	工場内において、日々行われるプラスチック射出成形業務に関する、全型交換作業時のボルト締め・緩めの繰返し作業により、左肩の腱板断裂が生じた。	68	921	19	10 ～ 29
2017	7	18～ 19	自動車ガラスの部品組付ラインにて、パレット内の完成品ガラスの検収をしているときに、次のパレットのガラスを検収するため、シューターレバーを解除し、パレットを流そうとしたが、パレットが斜めになっており動かなかった。監督者を呼ばずに被災者自身でなんとかしようと考え、シューター内に入り、パレットを引っ張ったところ、急にパレットが流れてきた。手で押さえようとしたとき、咄嗟に左足が出てしまい、パレットとシューターに左足が挟まれた。その後、左足踵辺りが腫れ上がってきたので病院を受診した結果、左足関節外果骨折と診断された。	24	391	7	300 ～ 499
2017	7	9～ 10	工場内において、縦型仮置ラックに完成品を置く作業中、右膝でガラスが倒れるのを防ぎつつ、保護用の紙を挟んでいたところ、ガラスが倒れそうになった。足で支えようとしたが、右足が滑ってラックの隙間入り、右足を捻ってしまった。その際に右アキレス腱が伸びてしまい、約2週間の治療が必要となった。	22	921	19	50 ～ 99
2017	7	15～ 16	工場において、鏡の切断作業中、鏡（500mm×500mm×5mm）を左手で抱えて持ち上げているとき、滑って落ちそうになったので支えようと右手を鏡の下に伸ばしたところ、右手首に当たって切創した。	50	529	8	10 ～ 29

2017	9	3~4	D2ラインにて切断し、警報が鳴らなかった為スリーブチップに生地（ガラス）がたまり、それを除去する為にカキ棒にて引き出す作業で、カキ棒がガラスから外れた為後部に倒れた時に、隣のAT#1号マシンの変速機ハンドルに右脇腹を打ち負傷した。	52	379	3	100 ~ 299
2017	9	14~ 15	工場2階食堂ドアのガラスの割れ替えの為、割れたガラスを外している時、外している所と違うガラスが落下して左右の腕に当たり怪我をした。	56	419	4	1~ 9
2017	9	10~ 11	碎石場にて、火薬を用いた性能試験を行っている時、電気信号を受け取ると発火する火薬デバイスに電気信号を送るためのコネクタを取り付けた時に、電気信号を送るためのコネクタよりも配線で上流側には、安全を考慮して無暗に電流を流さないための中間スイッチが付いていた、この中間スイッチは、無線信号を受信して初めて電流をコネクタ側に流す回路となっていた、コネクタを取り付ける直前に、電流が流れていないことを当事者が確認した上でコネクタを取り付けたが、無線送信機から意図しない無線信号が出たことでコネクタ側に電流が流れてしまった、そして電流の流れているコネクタを取り付けたことにより、火薬が発火した。	27	379	90	500 ~ 999
2017	10	16~ 17	業務を終え、退社しようと工場内を移動していた際、土間に置いてあったパレットに躓き転倒し、右肘を強打し受傷した。	56	417	2	50 ~ 99
2017	10	17~ 18	工場内の階段で二階から一階へ階段を下りている時、階段下の脇にガラスが立てかけてあった。置いてある事を知らずに、階段を下りていてガラスにあたり、ガラスが倒れた。倒れたガラスを踏んだ時に、足をひねった。	58	529	19	1~ 9
2017	11	16~ 17	ガラスクロスにヒートチューブを縫い付ける作業をしていた。糸くずが手について払っても取れなかったため2メートル程離れた場所にあるエアガンで払って作業場に戻ろうとした時、床に這っていたコードに足を取られ転倒した。その際、左手を床について庇ったと	59	417	2	50 ~ 99

ころ負傷した。

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_06.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html)